



特集

令和7年度予算

令和7年第1回定例会Pickup案件

- ・市指定ごみ袋が値上がり
- ・議員定数21人から20人に削減
- ・個人情報保護に関する条例を改正
- ・市議会から意見書を国に提出



CONTENTS

|                            |      |
|----------------------------|------|
| 特集 令和7年度予算 .....           | P 2  |
| 令和7年第1回臨時会、第1回定例会の結果 ..... | P 4  |
| 代表質問・個人質問(13人22項目) .....   | P 6  |
| 議会活動報告 .....               | P 16 |
| 令和7年第2回定例会の予定 .....        | P 20 |

風を待つ

吉村 春紀

YOSHIMURA Haruki

芸術学部 芸術学科 美術領域

コミュニケーションアートコース

## 中学校体育館空調機整備工事

夏季の体育授業、学校行事、部活動での熱中症対策として、全中学校体育館に空調機を整備する。災害時の避難所の暑さ寒さ対策としても活用する。



予算額  
4億5,081万円

Q 暖房はついているか？

A 暖房機能もある空調機である

Q 断熱工事は予算化されているか？

A 含んでいない。喫緊の課題として熱中症対策、防災対策として早期の整備が必要と考えた予算計上としている。

Q (学校教育以外の利用に際し)使用料を1時間1,300円に設定した算出方法は？

A 本市の公共施設適正化計画により総合体育館アリーナ使用料と同じ計算方法に基づく算出で、ガス電気代以外に減価償却費の一部費用を含む。

## 障害物リレーマラソン

「きたなごやRUNフェスタ」の目的を継承し、スポーツを通じて市民相互の連帯感を高めるため、市内企業の協賛を得ながら来場した人すべてが楽しめるリレーマラソンを実施する。令和8年3月に市総合運動広場での開催を予定。



予算額  
13万円

Q 令和6年度の事業実績として、どのように評価、総括されているか？

A 参加者アンケートは、楽しめたという意見が多い。スポーツ推進委員の企画立案で、RUNイベントを絶やしてはいけないという思いから始まったもの。高校生のボランティアや市内企業の協賛をいただき大変感謝している。こうして培ったつながりを、今後も絶やすことのないようにしていきたい。

## 自治会振興事業(自治会長謝礼)

自治会長の負担軽減、担い手不足の解消という課題に対し、市から自治会長に依頼する事項の見直しを図るとともに、より公平性に配慮した謝礼の積算方法に変更する。



予算額  
778万円

Q 自治会長の負担軽減のため見直した項目は？

A 自治会長会の回数削減、会長・副会長職の廃止、消防団、防犯委員等の推薦依頼の取りやめ、カーブミラー等の要望の取りまとめを廃止、回覧板・掲示板の依頼の削減を実施。また、会議数削減を補完するため、閉庁日の自治会長の相談日を設定。

Q 負担を減らす一方で、地域のつながりを維持するために、どんな施策を考えているか？

A 自治会長同士の情報共有の場を要望される声が多かったため、市民活動センターで交流の場、情報交換の場を設ける予定

## ユニバーサルデザインタクシー購入費補助事業

西春駅に待機するタクシー会社2社に対し、車椅子等でも乗降可能なユニバーサルデザインタクシー車両の購入費用を一部補助する。国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用



予算額  
40万円  
(全額国庫補助)

Q タクシーに乗車したくても捕まらないという声に対して、購入を補助することで市内の交通手段が確保できると言えるのか？

A コロナで営業収入が下がり回復できていない、タクシー台数の減少、運転手不足等の問題がある。地域公共交通計画の事業として、今後、市民と交通事業者が直接意見交換していく。真に必要な公共交通について話し合っていきたい。

# 令和7年度予算

予算総額 537億 6,119万円

一般会計：345億円 特別会計：148億8,300万円 企業会計：43億7,819万円

第1回定例会では、令和7年度当初予算に関する議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

令和7年度の当初予算は、一般会計345億円、特別会計と公営企業会計を合わせた総額537億6,119万円で、市制施行以来最大の規模となりました。

歳入では、市税収入の増加を見込む一方、国庫支出金や市債の活用を進め、安定した財政基盤の確保を図り、歳出では、福祉や教育、防災対策に重点を置き、児童手当の増額や中学校体育館の空調整備、防災行政無線のデジタル化などを実施するとともに公共施設の維持管理費の適正化や、デジタル化推進による行政の効率化にも取り組みます。予算の詳細については市ホームページの「財政」よりご覧いただけます。

## 予算審議 Q & A

予算決算常任委員会で議論された内容の一部を紹介します。

### キャッシュレス決済ポイント還元事業

キャッシュレス決済を対象にポイント還元を行うことにより、市内消費を喚起し、物価高騰の影響を受けている市内中小企業・小規模事業者への支援と、キャッシュレス化による商業活動の推進を図る。国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用



予算額  
1億6,966万円 (全額国庫・県補助)

Q 事業の詳細は？

A 市内の対象店舗においてQRコード決済を利用した場合に20%相当のポイント還元を行う。1回につき2,000円相当のポイントを上限とし、期間中、最大1万円相当のポイントを還元する。4事業者(PayPay、楽天ペイ、d払い、auPAY)、それぞれ最大限利用することで、最大4万円相当のポイント還元となる。

Q 市外の方にも還元され、市外の方に利益が行くことに対する見解は？

A それ以上に、市内中小企業・小規模事業者の方には市外からも多くの消費を呼び込めるのではと考える。

### 庁舎のあり方検討委員会の立ち上げ

将来的な庁舎のあり方について、外部の有識者等で構成された委員会を立ち上げ、検討する。



予算額  
18万円

Q 何を議論して進めていくのか？

A 現状・課題を分析・調査し、長寿命化改修をして現在の分庁舎方式を継続するのか、統合庁舎を新たに建設するのか、方向性を示す提言を行う。

### 歴史民俗資料館観覧の有料化

歴史民俗資料館の持続可能な運営基盤の構築を図るため、令和7年10月から観覧料の徴収を実施する。観覧料 300円(18歳以下無料)



予算額  
歳入  
313万円

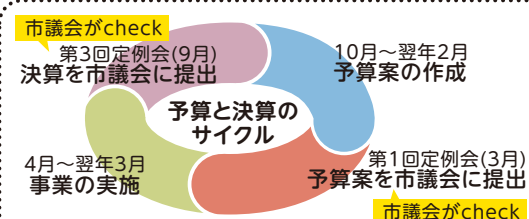
Q 300円の根拠は？

A 他の博物館を参考に規模や展示内容を勘案して設定したうえで、政策会議に諮って決定した。

Q リピーターを増やせるような方法を講じては？

A 今後、来館者がより増えるように付加価値をつけることも必要と考える。

委員会での議論の詳細は、市議会ホームページより録画配信をご覧ください。会議録は5月下旬に公開予定です。



議会は、市民の皆さまとともに未来を見据え、持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。予算の適正な執行をしっかりと監視し、より良い市政運営に向けて議論を深めてまいります。これからも市政に関心をお寄せいただき、ご意見をお聞かせください。





改正の内容

可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック製容器包装に係る一般廃棄物処理手数料の額を改定する。 施行は令和7年10月1日から。

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 可燃ごみ SS・S・Mサイズ 1袋 | 100円 → <b>120円</b> |
| 不燃ごみ 1袋           | 60円 → <b>80円</b>   |
| プラスチック製容器包装 1袋    | 100円 → <b>120円</b> |

A

Q

値上げとなるこのタイミングで、取っ手を付けるなど規格変更の考えは。

型を新しく作成することになりごみ袋の製作費が上がるため、現在は考えていない。

A

Q

値上げする根拠は

ごみ袋の製作、管理、配送費用と販売価格との乖離が大きくなったため。

年間の赤字額はいくらか

令和5年で900万円程度

A

Q

こんな質問が出ました

ごみ減量に向けた職員の努力に市民が共鳴し行動に移していただいた結果であり、今年度も目標値をクリアする見込みで、有料化を踏みとどまることに安堵している。これまで、ごみ袋を薄くしたり、販売店に理解をいただき販売委託料を減額して、ごみ袋費用は合併前から据え置いてきた。非常に苦しい判断だが、丁寧に説明しながら、ごみ行政・廃棄物行政を進めたい。

A

Q

値上げする根拠は

ごみ袋の製作、管理、配送費用と販売価格との乖離が大きくなったため。

年間の赤字額はいくらか

令和5年で900万円程度

Pickup

議案第17号

北名古屋市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

令和7年10月から

市指定ごみ袋が値上がりします

可決

Pickup

議案第48号 北名古屋市議会 個人情報保護条例の一部改正について

議員提案 個人情報保護に関する条例を改正

改正の内容

国による条例改正に伴い、引用する条の繰下げと、「懲役」の字句を「拘禁刑」に改めました。

Pickup

議案第50号 日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書の提出について

議員提案 市議会から意見書を国に提出しました

日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書

国際法史上初めて核兵器を違法なものとした核兵器禁止条約が、2017年7月7日の国連会議において122カ国の賛成で採択され、2021年1月22日に発効し、現在94カ国が調印し、73カ国が批准している。核兵器禁止条約は、核兵器の「開発、実験、生産、製造」及び「取得、保有、貯蔵、移転」を禁止し、さらにその「使用、使用の威嚇」にいたるまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止している。

2024年には、日本の被爆者団体である「日本原水爆被害者団体協議会」にノーベル平和賞が授与され、ノーベル委員会は受賞理由で「世界中で起きている紛争を見ると、核兵器を二度と使用してはならないという規範を守ることがいかに重要であるかわかる。日本被団協と被爆者は、この文脈において極めて重要だ」と述べている。世界の多くの国々は、唯一の被爆国である日本に同条約に調印・批准することに期待を寄せており、被爆者の方たちも日本政府に調印・批准するよう強く求めている。

本市議会は2006年に、核兵器の廃絶と戦争のない社会を訴え、平和な心と平和なまちの実現をめざすことを誓う「平和都市宣言」を行い、市ではさまざまな平和事業に取り組んでいる。

よって、いまこそノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いを受け止めて、日本政府に対し、唯一の被爆国として核兵器禁止条約に調印・批准するよう強く求める。

改正の内容

議案が自ら行財政改革を進める意思を示し、本市の行財政改革の一層の促進と効率的な議会運営を図ることを目的として、議員定数の削減を行いました。

議員定数 21人 ↓ 20人

（公布の日以後初めて告示される）般選挙から施行します。）

議案第49号

北名古屋市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

議員提案 議員定数を21人から20人に削減します

可決

令和7年 第1回臨時会 報告

令和7年第1回臨時会が1月28日に招集され、以下の議案を審議しました。

| 議案                                            | 議決結果      |
|-----------------------------------------------|-----------|
| 議案第1号 北名古屋市職員の給与に関する条例の一部改正について               | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第2号 北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について | 全員賛成 原案可決 |

令和7年 第1回定例会 結果

会期 2/21～3/21 29日間

条例の制定・・・3件 補正予算・・・4件 人事案件・・・14件 条例の改正(議員提案)・・・2件 意見書の提出(議員提案)・・・1件

| 議案                                                       | 議決結果      |
|----------------------------------------------------------|-----------|
| 議案第20号 令和6年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について                | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第21号 令和7年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計予算について                       | 賛成多数 原案可決 |
| 議案第22号 北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について                           | 賛成多数 原案可決 |
| 議案第23号 令和6年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算(第2号)について                   | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第24号 令和7年度北名古屋市介護保険特別会計予算について                          | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第25号 北名古屋市ひとり親家庭等手当支給条例の制定について                         | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第26号 北名古屋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について         | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第27号 北名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第28号 令和6年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)について       | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第29号 令和7年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計予算について              | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第30号 令和7年度北名古屋市下水道事業会計予算について                           | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第31号 北名古屋市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について                | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第32号 北名古屋市立学校照明設備使用料条例の一部改正について                        | 賛成多数 原案可決 |
| 議案第33号～議案第46号 北名古屋市農業委員会委員の任命について                        | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第47号 北名古屋市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について                       | 全員賛成 原案同意 |
| 議案第48号 北名古屋市議会個人情報保護条例の一部改正について                          | 全員賛成 原案可決 |
| 議案第49号 北名古屋市議会議員の定数を定める条例の一部改正について                       | 賛成多数 原案可決 |
| 議案第50号 日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書の提出について                 | 全員賛成 原案可決 |

色のついている議案をピックアップし具体的にどう変わるのかを(P2～3、5)に掲載しております。全ての議案内容は、市議会ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。



# 一般質問

7～10ページ掲載

## 代表質問

質問議員4人  
質問4項目

11～15ページ掲載

## 個人質問

質問議員9人  
質問18項目

一般質問の内容は動画で視聴できます。二次元コードまたは市議会ホームページから「議会録画中継」を選択してご覧ください。各議員の記事の右下にあります二次元コードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問に関する録画配信ページにつながります。



### 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に對して質問を行います。  
今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

### 代表質問とは

所属する会派を代表して、市政全般にわたって、執行機関（市長など）に質問することです。  
代表質問は、**施政方針**または所信表明の行われる定例会で行われます。

### 施政方針とは

その年度の市政運営に向けて市長の基本姿勢や主要施策などを明らかにしたものです。



## 本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日に市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。（日程はP.20を参照）  
傍聴の受付時間は、本会議、委員会ともに会議開始30分前からとなります。  
委員会は、先着10名で途中での入退室はできませんのでご了承ください。



全員協議会室



本会議場

### 代表質問

## 令和7年度施政方針について

質問者 永津 正和（市政クラブ）

答弁者 市長



### 子育て・教育分野

**問** 国では高校授業料の無償化の議論がされているが、保護者からはクラブ活動の道具やユニフォーム、移動費が負担だと聞く。授業料のみの議論だけでよいのか。

**答** 高校授業料の無償化は、多くの家庭が恩恵を受けることができる。国で更なる子育て世帯への支援の議論、政策の展開に期待を寄せる。

### 安全・安心なまちづくり

**問** 住宅が密集し、避難場所になり得る鹿田合田・東蒲屋敷地区の公園を早期に整備する考えは。

**答** 公園の地下に水害対策として雨水貯留施設の設置を計画しており、施設の整備後、速やかに着手できるように計画を進めたい。

**問** 西春日井広域事務組合の建物の老朽化及び耐震化への対応は。

**答** 正副管理者会議で、計画的な検討を進めるよう指示したところ。

利用のPRをしていく。

### 市民サービスの充実

**問** 東西庁舎の配置換えによる効果や市民からの意見は。

**答** 手続きがスムーズになった等、市民サービスの向上につながったと考える。一方、福祉の窓口が遠くなった等の意見もあったが、厚みある重層的支援体制で対応できることを説明し、理解を求めている。

**問** どのようなビジョンで行財政改革を進めていくのか。

**答** 財政状況の改善だけではなく将来に渡りここで暮らす方のふるさとであり続けるため、今後とも社会情勢に注視しこのまちの未来のために行財政改革を継続していく。

**問** 本市に火葬場がないことについて、超高齢化での処理や費用負担の不公平感をどう対処するか。

**答** 立地条件、膨大な費用、維持管理費等、市単独による整備は非常に厳しい。近隣の自治体と情報共有を図りながら広域的な視野を持ち、折衝していきたい。

**問** 熊之庄の公園用地買収の状況は。





代表質問

# 令和7年度施政方針について



質問者 まみや 文枝(公明党)

答弁者 市長

## 市民活動センター「μ-base」の運営

問 今後の支援策や運営体制強化についての考えは。

答 多様な主体が集いアイデアやノウハウを集積することが体制の強化に繋がると考え、周知啓発に努める。より多くの市民、団体、企業にメンバーシップ登録をしてもらうよう理解と協力を賜りたい。

## 子育て・教育分野

問 中学校体育館の空調機整備について、維持管理費や電力消費の対応策も視野に入れた今後の計画は。

答 低額な都市ガス式を採択し、災害等の利用を見据え停電時でも使用が可能。学校教育以外の使用では料金を徴収することから財源確保とともに過剰な使用を抑止し、長期的に安定した運営を見込む。

問 ICTを活用した教育環境の整備について、より効果的な学びを進めるための取組と今後の計画は。

答 デジタル教科書の活用、教育指導員、ICT支援員の巡回支援のほか、市情報教育(情報科)カリキュラムを更新し、個に応じた指導の充実を図る。

問 学校現場に新たに配置される巡回型講師、校内教育支援センター講師による効果や評価体制についての考えは。

答 児童生徒が安心して過ごせるよう保健室の体制強化と、不登校傾向の生徒が登校や教室復帰に向けて焦らず安心して準備できることに効果がある。利用人数復帰人数等の指標で検証し、過程や手法を開係者で共有していく。

問 児童館を学校施設内に集約することで、自由な利用が制限されることについてどう対応するか。

答 学校施設を有効に活用できるよう、NPOと学校、それぞれの良さを活かしながら多様化するニーズに

対応した子どもの居場所づくりができるよう実証事業を行う。

## 防災対策の強化

問 防災行政無線のデジタル化における高齢者や障害者への配慮は。

答 高性能スピーカーにより聞き取りやすく、防災アプリで音声や文字情報が配信され、高齢者や障害者にも有効なシステムとなる。

問 耐震改修工事補助について、どのように補助対象を選定し、効率的かつ公平に進めるか。

答 市耐震改修促進計画に基づき、適切に対処し、耐震化を促進する。

## 市民サービスの充実

問 手数料や利用料のオンライン決済導入に際し、サポート体制は。

答 窓口において丁寧な説明や利用案内の掲示などサポートを行う。

問 高齢者の带状疱疹ワクチン助成について、接種普及と啓発の強化は。

答 対象者へは個別に案内し、広報や公式LINE、医療機関の協力も得ながら普及啓発に努める。

## 市制20周年記念事業

問 市民が参加できる機会を、どのよ

うに提供する予定か。

答 市民のアイデアによる企画・運営や、歩きやすい地形を生かしたイベント、市民が出演できる映像作品の制作を考えている。名古屋芸術大学生が考案するロゴマークとキャッチフレーズを8月10日のハートの日に発表する。

## 将来の庁舎体制の方向性への検討

問 外部有識者からなる検討委員会の立ち上げに向けた状況は。

答 委員会では、今後の庁舎のあり方についてその方向性を示す提言を行っていただきたいと考える。

代表質問

# 令和7年度施政方針について

質問者 伊藤 大輔(立憲民主党)

答弁者 市長



## 行財政改革

問 これまでの改革が与え、これから改革が与えるであろう「痛み」を慮って、慎重の上にも慎重に改革を進めて頂きたい。

答 市民生活への影響をできるだけ少なくするように考慮しながら、将来の市民サービスの充実を考えて進めている。対話を通じて「痛み」を乗り越えた先には、本市の明るい未来があることを市民と共有し、ともに進めたい。

## 子育て・教育分野

問 養護教諭の資格を持つ講師2名に学校を巡回させることについて、どのような効果が見込めるか。

答 経験豊富な講師の指導・助言により各学校の養護教諭の負担を軽減できることは、どの施策よりも学校保健体制の充実につながる。

問 全中学校に校内教育支援センター講師を配置する効果は。他校を希

望する生徒に対し転校は可能か。

答 教室復帰の準備の場とするともに学校とのつながりが強まる。就学校と距離を置く転校は認めていない。

問 学校給食は教育活動に必要不可欠なものであって、授業料や教科書代と同じく無償化すべきでは。

答 国で小学校給食費無償化後、中学校への拡充も議論が進んでいるため、今後の国の動向に注視する。

## 安全・安心なまちづくり

問 防災アプリの登録者数はどのように増やしていくのか。

答 総合防災訓練、自主防災訓練、防災講話等で防災アプリの利便性を周知し、登録者数を増やしたい。

問 避難所・避難生活の環境改善の取組、災害ケースマネジメントを実施するための取組は。

答 環境改善に寄与する備蓄品の計画的な配備を進めていく。市防災計

画に災害ケースマネジメントの実

施について新たに記載した。

問 市独自のパートナーシップ・ファシリテーター制度の導入についての考えは。県ファシリテーター制度により本市ではどのようなサービスが利用できるのか。

答 現在、男女共同参画審議会で、ファシリテーター宣誓制度についての議論を始めたところ。県制度に限らず事実関係に基づいて行政サービスを提供している。

## 市民サービスの充実

問 沖村西部地区の街区公園の計画は具体的にどのようなものか。

答 多目的広場、幼児用遊具広場、児童用遊具広場にエリア分けし、西側にウォーキングに適した緑道、中央に待ち合わせ広場を整備する。多世代が利用し、交流の場となるものと考え。

問 トイレや水飲み場などが設置されていない公園が多いが、利便性を高めるための必要と考える。

答 児童遊園については、公共施設の適正配置を検討する中で、地元と





代表質問

# 令和7年度施政方針について

質問者 渡邊 麻衣子(日本共産党)

答弁者 市長



## 物価高騰による市民生活への影響

問 物価高騰に苦しむ市民生活についてどのような受け止め方か。

答 幅広い世帯や収入層に影響している。低所得世帯への給付事業、キャッシュレスポイント還元事業を実施し、市内消費を喚起し、幅広い世代や市内中小企業、小規模事業所を支援する。

## 安心の子育て・教育

問 小学校体育館にも早期にエアコン設置すべきでは。

答 中学校体育館に設置後の稼働状況や国の補助金等を十分に考慮した上で、設置を検討したい。

問 外国語指導助手（ALT）派遣業務委託は、継続して信頼関係を築くことや地域に根差した専門性の発揮が難しくなるのでは。

答 協議中の業者から授業以外のさまざまな交流機会の提案がある。児童生徒のコミュニケーション活動

の充実、教員との良好な関係性を構築していく。

問 会計年度任用職員は正規職員として雇用し、不安定で賃金の低い派遣労働への切替は改めるなど、行政が労働環境を悪化させることなく、雇用の安定を図るべきでは。

答 以前より安心して働き続けられる環境を整備し、必要に応じ人材確保に努めている。派遣労働への切替は、各事業の業務内容を精査し検討していきたい。

問 中学校へ校内教育支援センター講師を新設置するが、小学校にも不登校支援は重要と考えるが、支援拡充の考えは。

答 教育支援センター「パレット」の統括指導員が学校を巡回し、児童生徒や保護者に対して足を運んで傾聴できる体制を整えた。

問 独自性と実践交流等によって発展してきた児童館や児童クラブの豊

かな活動が、学校施設内に移転しても続けることができるのか。

答 児童館の「誰でも」「自由に」遊びに行ける特性を持続するため、NPOと学校それぞれの課題を検討し、地域とともに子どもの居場所づくりができるよう実証を行う。

## 安心・安全なまちづくり

問 組立式仮設給水槽など新たな備蓄設備の拡充など、災害を教訓にしたまちづくりをどう考えるか。

答 調査・研究を重ね、避難所における生活環境の向上に努める。

問 被災者支援の一覧化、ワンストップ窓口設置など、わかりやすい周知と体制の充実が重要では。

答 相談窓口の設置、ホームページ、掲示板、防災アプリ等に制度を一覧化して掲載するなど、周知に努めるとともに、災害規模に応じた被災支援の体制づくりを進める。

問 道路陥没事故防止のため、下水道の安全性と緊急点検の必要性は。

答 腐食の恐れが高い管渠について緊急点検を実施しており、現時点で道路陥没等が発生するような予兆

は発見されていないと報告を受けているが、今後も継続的に点検を実施していく必要がある。

## 安心して暮らせる健康・福祉

問 国民健康保険税は、来年度から減免制度を廃止し、低所得者には増税となる。市民の困難に寄り添う考えは。

答 本市の国保運営は、被保険者の負担軽減のため加入者以外も負担している現状。減免が受けられる世帯と受けられない世帯との格差も拡大するため、2割減免制度は令和7年度から廃止する。

## 生活安全

## 「どうなった火葬場」から検討委員会

神田 薫（市政クラブ）



財政状況の悪化や家族形態が変わってきている現在、従来の考えのままでは、火葬場未整備の解決は困難になっている。今後多死社会の突入、大規模災害等、火葬場が未整備なのは、深刻な問題。令和5年度に行政改革推進委員会でも対策の必要性が述べられ、市長は「紳士協定の中で豊山町に設置することになっていたが、現実には厳しい。市内

に設置するのも難しいが、大規模災害等への対応を考慮すると検討していかなければならない。」と述べられている。本市の今後の火葬場の在り方や火葬事務の方向性等、現状分析を行い、検討委員会の設置を考えて頂きたい。

## 市長

火葬場を有する近隣の自治体に頼らなければならぬ現状で、多死社会の到来及び大規模災害等への対応を鑑みると、重要な課題であると認識する。

平時及び災害時における火葬場の利用について、周辺の火葬場を有する自治体等と友好的な関係を築くため、地道に情報交換を行いながら広域連携の可能性を模索しているが、本市の整備方針も定まっていない中で、やみくもに検討委員会を設置するよりも、火葬場所有自治体の苦労や周辺住民の気持ちも推し量る洞察力を持ちつつ、信頼関係を構築し、一歩ずつ進めていくことが大切と考える。

## 総合政策

## 生成AI※の導入、利用ガイドラインの策定について

桂川 将典（市政クラブ）



地方自治体における生成AIの活用は急速に進み、職員の負担軽減、意思決定の質の向上、より効果的な政策策定や予算編成など、人口減少社会で行政水準の維持に欠かせないツールであり、本市でも積極的な推進を期待する。

## ①生成AIの導入の是非

人材育成、予算確保、情報管理体制の整備などの課題に対処しつつ、担当課においての活用と導入に向けて積極的に取り組んでほしい。

## ②生成AI利用ガイドラインの策定

導入に際しては、規定に基づき適切に対応する必要がある、懸念するのは未承認ツール類の蔓延である。早急にガイドラインの整備が必要では。

## ③庁内で要望を聞く取組

職員から利用についての要望・提案は取りまとめているか。

## 情報推進課長

①どのようなかたちで生成AIを利用できるか慎重に調査を進めている。今

## その他の質問

・外部有識者の積極的な活用について

※生成AIとは…学習データをもとに、テキストや画像など新たなデータを生成するAI（人工知能）のこと。





## 子ども・保護者から選ばれる園になるために

熊澤 真澄（市政クラブ）



今までは子どもの数が多く積極的に入園させる取組がなかったが、今後はそういった考えを持たないといけない時代になる。そのため、園の情報、取組が分かるホームページ、保育の質の向上、保護者の満足度向上、子どもの成長の可視化などが最も重要と考える。

- ①本市の保育の現状は。
- ②保護者の園に対しての意見は。

③これらを踏まえ、子ども、保護者から選ばれる園についての見解は。

### 保育士長

①令和6年度より、自ら考え自ら行動する力や、非認知能力を伸ばす「主体的保育」を実施し、小学校教育の基礎となるよう取り組むほか、一日保育士体験で保護者に保育を知ってもらう活動にも力を入れている。

②保護者アンケートより、園舎の修繕や駐車場不足、防犯や安全面への強化の要望があり、保育内容については約9割が満足と評価をいただいている。

③主体的保育をより進め、特色ある育みを提供するとともに、保育システムなどを活用し広く周知する工夫をしていくことが求められていると考える。

### その他の質問

・保育士を希望される方から選ばれる園になるために

・既存職員から選ばれる園になるために



## 児童生徒の不登校問題について

浅利 公恵（市政クラブ）



①市の不登校児童生徒数は。

②保護者が不登校の兆候を感じた場合の相談できる窓口はどこか。

③保護者の不安を和らげるための支援の取組は。保護者の集まり悩みを共有できる場を企画してほしい。

④児童生徒が登校したいと思った時の新たな環境づくりを進めては。

⑤民間フリースクールとの連携は。

⑥不登校児童生徒の減少や解消に向けた取組の方向性は。

### 教育部次長

①令和5年度は371人で、令和3年度と比較して約1.4倍。

②担任を中心とした学校がスクールカウンセラーや養護教諭も含めて対応するほか、教育支援センターやこども若者支援センターがある。

③令和6年度、公認心理師を講師に相談会を実施。取組があれば企画される方と協議し、教育委員会として協力できることを進めていきたい。



## 地域の見守り体制の構築について

清水 晃治（市政クラブ）



社会構造の変化により自治会の加入率は年々低下し、本市でも自治会によつては実質加入率が50%を下回っている地域もあると考えられる。

自治会の維持だけでなく、自治会に依存しない新たな地域見守り体制は、全国各地で様々な施策が展開され、本市も地域特性に合った施策の選択が重要。

①自治会が縮小した場合、地域の見守

り機能をどのように補完する考えか。

②それを実現するために、どのような施策を進めていく考えか。

③自治会が存在しなければ市民活動センターの効果もない。行政側からもあらゆる手を使って維持すべきでは。

### まちづくり推進課長

①昨年の市総合防災訓練において、団体や関係機関、企業が連携したように、多様な主体がそれぞれ得意とする機能を持ち寄って連携することが必要。

②多様な主体による取組が必要。市民活動センターを拠点に、自治会との連携や自治会同士の連携が図られるようメンバーシップ登録をいただいている個人、団体、企業にも働きかける。

③市も自治会と一緒に検討していく。

### その他の質問

・地域の見守り体制の継続的発展のために

・消防団員の担い手確保について



## 徘徊の早期発見への対策について

つるた りえ（公明党）



と考える。

今後も認知症等への理解を深め、認知症施策を知ってもらえるよう周知を行うとともに、関係機関との連携、情報共有を図りながら、QRコード付きシール等の活用についても、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことに繋がるよう、その効果性を見極めつつ研究に努めたい。



### 福祉こども部次長

この活用で早期発見対策が必要では。

QRコード付きシールの活用については、徘徊高齢者の迅速な身元確認につながるアイテムのひとつであるが、徘徊高齢者を発見、声掛けをし、通報する方がおむね一般市民であることを踏まえると、早期発見につながるよう地域で見守る意識の醸成が重要である。



## 住民参加による都市公園整備の進め方は

川淵 康宏（日本共産党）



子育て世帯をはじめ、幅広い年代の方から「公園をつくってほしい」との声が寄せられる。令和7年度、沖村西部地区内で公園を整備すると示されたが、他の地域でも検討がされているものを早期に整備することに努めていただきたい。

幅広い年代の多様な声に基づいて整備するには、関係部署と協力し、多くの



ニーズを捉えることが重要。住民と一緒に公園をつくるにあたり、今後の取組に対してどのような思いか。

### 建設部長

都市公園の整備は、市内全域、幅広い世代より要望をいただく。市内には都市公園のほか、児童遊園、運動広場があり、用途はそれぞれ異なるため、要望も用途に応じ、分類して対応することが重要と考える。整備にあたっては、多様なニーズに応えた利用用途などを検討するため、地域コミュニティの活性化、防災対策、スポーツ、子育て支援、障害・高齢福祉など、様々な関係部署との横断的な連携が不可欠となる。

今後は、多様化する市民ニーズに対応するため、多角的な視点から、関係部署と連携を図り、引き続き幅広い世代の方と意見交換を行っていく。

### その他の質問

・東庁舎への行きづらさを解消する取組を

## 広域事務組合管理者間での1年間の協議回数と内容

沢田 哲（無会派）



①所管部長による行政協議会と所管課長による消防整備計画検討会での報告を受けた回数とその内容は。

②築50年以上経過の建物に接した車庫内での消防車両の被災防止対策は。

・地震により被災された市民等への援助体制の構築を  
・被災し負傷された市民の救助及び援助対応について  
・現在の指定避難所の災害対応の備蓄用品の種類は

③消防車両をテント式倉庫で保守管理ができないか。

・被災し負傷された市民の救助及び援助対応について  
・現在の指定避難所の災害対応の備蓄用品の種類は

### 市長

①行政協議会の相談及び報告、組合予算案及び2次救急医療補助の経緯説明及び相談の計4回。消防整備計画検討会は、今後の方針を継続して協議している旨報告を受けている。

②耐震診断の結果、一般建築物の耐震基準以上であると認識し、耐震補強等は実施されていない。

③耐震基準はクリアしているが今後の庁舎整備方針と合わせ検討する。

④西春日井広域事務組合と株式会社JA西春日井エナジーと災害時車両用燃料等の優先供給に関する協定を締結



## 妊婦などへのインフルエンザワクチン接種費用の助成

ひろた 幸治（無会派）



妊婦や小児の中でも特定の障害を持つ子どもは、インフルエンザの重症化リスクが高い。発症を予防できれば、重症化や死者数が減り、子ども医療費を無償化しているからこそ、財政への負担を抑えるためにも大切な支援であり、助成対象をハイリスク者である障害児や妊婦に限定することで財政負担を抑えつつ高い効果を発揮でき、接種費用の助成は合理的な取組と考える。

成は、新たなワクチン接種助成の要望や各種健康保険組合の補助拡充などをふまえて調査研究が必要と考える。現時点では、予防接種法に基づく定期接種の接種勧奨に努め、手洗い、うがい、人混みでのマスクの着用、適度な睡眠など基本的な予防対策の意識を高め、市民自ら健康を守るための行動がとれるよう、引き続き啓発を行っていく。

障害のある子を育てる世帯は一般的な子育てと比べて日常的な金銭的負担

が大きく就労が難しい場合もある。妊婦は出産や育児に向け多額の費用を必要とする時期であり、接種助成は健康を守ることで、経済的負担の軽減の両面で意義のある取組と考える。市の考えは。

### 健康課長

インフルエンザに感染すると重症化しやすい障がい児や胎児にまで影響が及ぶ危険性がある妊婦の予防接種の助



## 皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

●メール [giji@city.kitanagoya.lg.jp](mailto:giji@city.kitanagoya.lg.jp)  
●FAX (0568) 23-3140  
議会事務局

## モニター意見箱 ～第1回定例会～

市が抱える問題が浮き彫りになっていて興味深かった。

財政事情が厳しい中での行政の苦勞が分かった。

公共事業の計画を身近に感じられた。



審議する議員の様子からは、選挙ポスターだけでは分からなかった議員の特色が伝わり、次回の選挙も一段と興味がわいた。

その他たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の議会運営に役立てていきたいと思ひます。

議会資料を見ながら傍聴できるのが良い。



## 建設常任委員会

## 地域住民による避難所運営委員会の組織について

令和6年9月17日

## ●本市の課題

職員の被災等により、避難所開設の遅れなど職員だけの避難所開設や運営が困難。避難所運営委員会の迅速な立ち上げが現状難しい。

自主防災会や団体との連携を積極的に進めている地域がある一方、連携が出来ていない地域が存在する。

## Q&amp;A 質疑

Q 自治会のような大きな組織ではなく、日頃絶えず顔を合わせられる、コンパクトで気の合う人を集めた協働隊のような組織を作った方が良いのでは？

A 様々な得意分野がある団体があるため、避難所運営委員会の中でそういう団体との連携を模索していただくことが良いと考える。



会議録



録画配信

## コミュニティバス・デマンド交通について

## ●本市の現状(きたバス) (令和5年度)

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 乗車人数 | 223,676人<br>うち無料乗車<br>36,116人 16.1% |
| 乗車率  | 朝便 27.1%<br>昼便 26.4%<br>夕便 17.1%    |

## ●本市の課題

利用者の減少への対応・運転手の確保・きたバス料金の見直し・生活道路の法定速度規制への対応・環境負荷軽減への対応・キャッシュレス決済の拡大 等

## Q&amp;A 質疑

Q 公共交通のあり方の研究の一つとして、デマンド交通について市当局の考えは？

A デマンド交通は、利用者の利便性向上だけでなく、事業者にとっても事業効率が向上すると思われる。全国でさまざまな形でデマンド交通の取組が行われており、今後、計画を策定していく中で、本市にとってどういう形態が一番望ましいのか、どういう形態が利用されやすいのかをしっかりと研究していく必要があると考える。



会議録



録画配信

## 地域公共交通計画について

令和6年12月16日

## ●本市の現状

令和7年3月に計画を策定予定。  
「計画の特徴」

利用者の減少や運転者不足の深刻化によって民間事業者のサービス継続が困難となる中、官と民との共創、交通事業者間の共創、他分野を含めた共創により、持続可能で地域にとって望ましい公共交通の姿を描く。

## Q&amp;A 質疑

Q 幅広い年代、地域のニーズを聞くために、具体的に何をやるべきかと考えるか？

A 地域公共交通会議の中で諮っていくことになるが、現段階で事務局としては、子育て世代や、高齢者団体、民生児童委員などの市民団体と交通事業者が直接意見交換するワークショップ等を開いて、市民の声を拾っていく取組を考えている。



会議録



録画配信



協議内容の詳細は、市議会ホームページから会議録や録画配信でご覧いただけます。行政視察の内容は、議会だより「きたしる」vol.94(2月1日発行)に掲載しました。議会だより「きたしる」のバックナンバーも市議会ホームページからご覧いただけます。



所管事務調査とは、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは違い、委員会が所管する事務について自主的に行う調査です。

前号では先進地へ行政視察をした内容を掲載しましたが、視察以外にも各委員会が調査を行っています。今号は、令和6年に調査した内容を掲載します。



## 総務常任委員会

## 自治体DXの推進について

令和6年9月18日

## ●本市の現状

令和5年10月に「北名古屋市DX基本方針」を策定

■取組の柱…①利用者の利便性向上  
②行政事務の見直しやデジタル化による効率化  
③職員の意識改革

■現状の課題…①国の仕様の改版、法改正によるプログラム修正等、開発業者の遅延  
②職員全体のICTリテラシーや基礎的なスキルの向上が必要(職員の意識改革)

## Q&amp;A 質疑

Q 今後進める中で難しいと感じていることは？

A 職員のデジタル的なスキルやICTを使う力がまだ足りないと思っており、多くの職員を教育するための手段を模索している。



会議録



録画配信

## 年収103万円の壁見直しによる地方財政への影響について

令和6年12月17日

## ●本市への影響

## ■個人住民税の減収見込額

市民税△16億2千万円  
県民税△10億8千万円

## ■地方交付税への影響

国から75%は補填されると見込んでいるが、5%(4億円)減収となる。

## ■その他の影響

市民税の課税・非課税等を基準にしている事業に影響が及ぶ。(就学援助及び特別支援教育就学奨励費・介護用品支給支援事業・障害(児)者扶助料支給事業 等)

## Q&amp;A 質疑

Q 本市の財政規模で億単位の影響が出るということは、国から情報がないから分からないではなく、最悪な状況も含めて、現在市当局が示している中期試算、公共施設適正配置、行財政改革実行プランなどの早急な見直しが必要では？

A どういった事業にどれだけの影響があるのか、多方面に検討して、見直しが必要であると考えている。



会議録



録画配信

## 福祉教育常任委員会

## 子ども教育の連携(幼保小中の連携)の推進について

令和6年9月13日

## ●本市の現状

幼児期の教育課程から小学校教育への接続への課題に対応するため、令和3年9月に北名古屋市版スタートカリキュラムを編成した。

子供の発達特性や幼児期からの学びと育ちを踏まえカリキュラムを編成したことが特徴で、子供の成長の姿を診断、評価しながら学習活動を展開することができる。

あわせて、幼児期から児童期に、子供の何をつなげなければならないか、そのために何をどう変えていくのか、その方法や考え方がまとめている。(質疑なし)



会議録



録画配信



## 社会科の授業が議場で行われました

師勝中学校3年生の社会科公民の授業が、市議会の議場を使って行われました。3日間にわたり計195名の生徒の皆さんに議会の雰囲気味わっていただくことができました。中学生からの「議員の仕事に就くためには、どのくらい勉強すればできるのでしょうか?」という質問に対しては、議会を代表して副議長が「住んでいるまちや市民の生活をより良くしたいという情熱があってこそできる仕事であり、人としての魅力を身に着ける事、地域の課題に関心を持つ事、コミュニケーション能力が必要」と答弁しました。



市議会も、主権者教育の向上に向けた取り組みに積極的に協力してまいります

## 第2回 10月に市民と議員の意見交換会を開催します ～あなたが将来暮らし続けたいと思うまちの理想を語り合いませんか～

昨年10月に「市民と議員の意見交換会」を開催し、“公共施設”をテーマに、幅広い世代の方々と意見交換を行いました。さまざまな思いや意見を聴くことができ、その後の市議会活動や議員活動の中で活かしているところであり、大変有意義なものになりました。

そこで、令和7年度は“市の将来イメージ”をテーマに、意見交換会を開催することにしました。

あなたは、北名古屋市がどんなまちになってほしいですか?このまちの一員として、どのように活躍していきたいですか?

市政へつなげるため、あなたの声をお聞かせください。

北名古屋市議会 あなたの声をお聞かせください

**市民と議員の意見交換会**

日時 **10/4 土** 午後1時30分～

場所 **名古屋芸術大学アーツスクエア**  
(北名古屋市文化勤労会館) 1階 小ホール

テーマ **市の将来イメージ**

お申込みは議会だより8月号をご覧ください

## 参加する方も、そうでない方も アンケートにご協力ください

- ◆一人でも楽しめるカフェや図書館、ワークスペースが充実したまちで暮らしたい
  - ◆地域の祭りや伝統行事が盛んなまちにしたい
  - ◆若者が集まりやすいイベントやコミュニティが欲しい
- など、あなたが暮らしたいまちの理想をお聞かしています。集計結果は意見交換会の際に発表し、この結果をもとに話し合う予定です。
- あなたの意見が意見交換会をつくれます。



アンケートはこちらから  
◎3分程度の簡単なアンケートです

## 議会活動報告

### 市議会モニターさんと意見交換を行いました 開かれた議会を目指す

令和6年4月より本市議会の会議を傍聴していただいている市議会モニターさんと正副議長・議会運営委員会委員長が市議会の運営や広報について、意見交換を行いました。いただいたご意見を一部紹介します。

#### 議会運営について

議場のモニター画面に、質問や答弁をリアルタイムに文字で表示できないか。

会議室の傍聴席が狭く感じる。また、市職員の声が聞き取りにくい。

委員会の際、委員の意見が少ないのではないかと、もっと議論してほしい。

#### 議会だより・ホームページ等について

週刊誌のような見出しがあるといい。

「きたしる」の発刊を公式LINEで通知されるようになり、スマホやパソコンで確認しやすくなった。定例会の日程確認もしやすい。

モニターになり、以前よりも「きたしる」をしっかり見るようになった。

「きたしる」の記事をもう少し詳しく書いてほしい。教科書のあらすじのように書かれており、もっと詳しい内容が知りたい。

#### 市議会モニターとは?

会議を傍聴していただき、議会・議員活動に対するご意見やご提案をいただいています。  
毎年2月に募集し、1年間(4月～翌年3月)の任期で活躍していただきます。



いただいたご意見は、広報広聴委員会で共有し、市民に親しまれる開かれた議会の実現のため、議会改革に取り組んでまいります。

### 本市の犯罪情勢と防犯対策について学びました

#### 議員研修

“闇バイト”で集まった若者たちによる強盗事件や、詐欺電話による被害が後を絶ちません。安全で安心な地域社会の実現には、警察、防犯協会などの関連機関の連携を強化し、防犯活動を充実するとともに、自分が住む地域は自ら守る意識を持つことが重要とされます。

各議員が今後の安全・安心なまちづくりに向けた取り組みの参考となるよう、西枇杷島警察署生活安全課長より、本市の犯罪情勢と防犯対策について講話をいただきました。







フチャイロ

議会だよりが  
アプリで  
読めます。

## 令和7年 第2回定例会の予定

|             |                                         |
|-------------|-----------------------------------------|
| 6月 2日(月)10時 | 本会議(初日)                                 |
| 6月12日(木)10時 | 本会議(一般質問)                               |
| 6月13日(金)10時 | 本会議(一般質問) ※6月12日にすべての日程が終了した場合は開催されません。 |
| 6月16日(月)10時 | 予算決算常任委員会                               |
| 6月17日(火)10時 | 福祉教育常任委員会                               |
| 6月18日(水)10時 | 建設常任委員会                                 |
| 6月19日(木)10時 | 総務常任委員会                                 |
| 6月20日(金)10時 | 鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会                      |
| 6月25日(水)10時 | 本会議(最終日)                                |

## 請願書・陳情書の提出について

令和7年第2回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、5月23日(金)の午後5時(予定)です。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

## 本会議・委員会の傍聴について

会議開催日に市役所東庁舎4階東エレベーター前で受付を行います。

受付時間は会議開始30分前からとなります。

※委員会は、先着10名で途中での入退室はできませんのでご了承ください。

## ホームページをご覧ください

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。みなさまのアクセスをお待ちしております。

※通信料はご利用者の負担となります。

北名古屋市議会

検索



## 編集後記

新年度を迎え、今号では令和7年度予算を特集しました。議案審査では活発な意見交換がしっかりと行われています。また、前号から二次元コードを併記しましたので議論の詳細が市議会ホームページでご覧いただけます。引き続き、市民の皆様がより良い生活を送れるよう開かれた市議会を目指して努力して参りますので宜しくお願い致します。

市議会は5月が委員交代の時期となり、次号からは新しい委員構成で議会だよりの制作に臨みます。今後もぜひご期待ください。



## 表紙紹介

芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース

吉村 春紀 YOSHIMURA Haruki

## 風を待つ

ある夏の日の向日葵とたんぽぽ。  
小さな二人の小さな  
幸せの物語です。

